

結城南中学校区新設校 基本構想・基本計画 概要版

児童生徒数の減少により、小・中学校の小規模化が進行しているなか、結城市立小・中学校を集団生活の中で豊かな人間関係を築いていく場とするとともに、快適な教育環境の整備に努め、特色のある魅力的な学校とすることを目指して、学校再編の取組を進めています。

(1) 小中一貫教育の方針

子どもたちの学力の向上のために

5つの小学校が1つになることで適正規模の児童が集い、互いに切磋琢磨し、多様な考え方や能力に触れ、お互いに刺激を受け合いながら、自分自身を磨く機会をつくります。その上で、次に示すような点に力を入れて教育活動を展開し、子どもたちの確かな学びを保障し、学力向上を目指します。

< 習熟度別学習の充実 >

児童生徒の理解の程度や技能の習熟度、学習速度、興味関心等に応じて学習内容を系統的に学んでいく教科で、習熟度別学習を取り入れます。これにより、発展的な学びや個別のつまずきに対応し、児童生徒の学習効果を向上させます。

< 乗り入れ授業の充実 >

小中一貫校において、学習指導をより効果的にする指導体制の一つとして、中学校教員による小学校への乗り入れ授業が挙げられます。小学校高学年から特定の教科(外国語科、音楽、図画工作、体育等)において中学校の教員が、専門性を生かした質の高い授業を行うことで児童生徒の興味・関心を高め、自ら学ぶ子どもを育てます。



乗り入れ授業の様子

自己肯定感・自己有用感を高め子どもたちの社会性を育むために

< 異学年交流 >

施設一体型の校舎で生活することにより、小中学生が日常的に学校行事や総合的な学習の時間における活動、給食、部活動等で交流することができます。

異学年の児童生徒との交流に加え、広い視野や豊富な経験をもつ地域の方々との交流も積極的に取り入れます。これらの多様な人々との交流を通して、人や社会と関わっていくことで、社会に積極的に関わるための自己肯定感や社会性の基礎となる自己有用感を高め、将来の目標や夢の実現に向け自信をもって取り組んでいく姿勢を育てます。



異学年交流の様子

子どもたちの安心感を高めるために

< 支援の充実 >

小学校と中学校の教職員が児童・生徒指導に関する情報を日常的に共有し、よりきめ細かな指導を行い、全ての学年の児童生徒が安心感をもって同じ場に集い、幅広い人間関係を育むことができるよう支援してまいります。

特別支援教育においては、学習上又は生活上必要とされる支援や困難を改善するための指導を通級指導教室で行います。また、特別支援学級に在籍する児童生徒には障害の状態等に配慮し、一人一人の教育的ニーズに応じた支援や指導により児童生徒の安心感につなげ、可能性を伸ばします。



交流発表会の様子



特別支援学級との小中合同授業の様子

(2) 具体的な教育内容

結城市の基本施策や統合する小学校及び小中一貫教育を行う中学校の特徴を踏まえつつ、小中一貫校として特色のある学校を目指し、具体的な教育内容を次のとおり整理します。

結城市学校教育の基本施策：地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育

9年間を見通した特色あるカリキュラムの編成と実践

連続性・系統性のある指導による安心して学べる学校づくり

具体的な教育内容

知・徳・体のバランスのとれた社会人の基礎を養う

<ふるさと学習の推進>

郷土を愛する『人財』を育成するための学校を核とした地域資源を生かす特色ある教育活動の充実

<外国語活動と英語科の充実>

グローバル社会で活躍する『人財』を育成するための外国語活動と英語科の充実

<ICT・プログラミング教育の推進>

常に化する社会において広い視野に立ち、主体的に行動できる『人財』を育成するためのICT環境の充実

子どもたちの郷土愛を育むために

<ふるさと学習の推進>

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として、家庭や地域との連携を密にし、「地域とともにある学校」を目指します。

学校の教育目標やビジョンを地域の方々と共有し、地域の教育力を学校運営に活かしていくとともに、地域の思いや願いを反映した特色ある教育活動を展開します。

小中一貫校としての利点を最大限に活かし、小中学校の保護者と教職員が協働し、運動会や文化祭などの学校行事に参画したり、PTA主体による読み聞かせなどのボランティア活動や放課後子ども教室などにも支援をしていただけるよう連携を深めてまいります。

子どもたちの国際力を育むために

<外国語活動と英語科の充実>

A L T（外国語指導助手）や英語専門指導員などと連携して、英語の授業以外にも外国語に慣れ親しむ時間を創出します。外国の文化や習慣を学び国際感覚を養うため、外国に住む知人とオンラインで結び、コミュニケーション活動などを活発にします。

小学校課程では「見る」・「聴く」・「話す」を意識し、イングリッシュデイや英語のシャワーの実施など、日常的に英語に触れたり、慣れたりする機会をつくります。中学校課程では受検対策の一環として英検取得に向けた講座などを行います。

子どもたちの情報社会への適応力を育むために

<ICT・プログラミング教育の推進>

ICT（情報通信技術）・プログラミング教育では、ICT機器を適切に活用したり、プログラミングしてロボットやコンピュータに意図した処理を行うように指示したりする活動を通して、将来どのような職業にも必要とされる能力である、論理的な思考力や問題解決能力などを育むとともに、ますます進展するテクノロジー分野に適応する力を育成します。

(5) 外観イメージ



ここに示す内容は、現段階の案であり具体的な設計時に詳細な検討を行います。

(6) 開校までのスケジュール(案)

		R5年度												R6年度												R7年度												R8年度												R9年度					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
設計・工事	基本設計 実施設計 新設小学校 建設工事	設計者 選定		基本設計								実施設計								施工 業者 選定		建物工事 外構工事				校舎引渡 外構竣工				開校																									
	調査等	敷地測量												地盤調査																																									
	敷地測量	敷地測量												地盤調査																																									
地盤調査	敷地測量												地盤調査																																										

(7) 小学校の跡地利用

「小学校の跡地利用計画」については、中・長期的な視点に立ち、新たに生じる行政需要への対応や多様化、高度化する市民ニーズを考慮し、将来を見通した上で全庁的な組織により策定を進めていきます。

なお、具体的な計画の内容については、「学校跡地利用の基本的な考え方」に基づき検討します。

< 学校跡地利用の基本的な考え方 (3項目) >

1. 全市的な行政需要
を踏まえた活用

2. 地域住民の利用等
地域ニーズを十分に
踏まえた活用

3. 民間事業者等の活用

問合せ先

結城市教育委員会 学校教育課 学校再編係

TEL : 0296-34-0376 FAX : 0296-32-1999 e-mail : school@city.yuki.lg.jp